

小P連だより

第44号

平成22年9月30日
発行
八王子市立小学校
PTA連合会

読書大好き！八王子っ子になあれ

八王子市には五つの図書館があります。子どもたちが少しでも図書館に親しみ、読書への関心を高めていただけることを願い、それぞれの図書館の特徴とお薦めの本を紹介いたします。

八王子市中央図書館

児童担当 湯原直彦さん

本が語りかけてくる 書架づくりを

「本が探せない」「殺風景」「本が古い」。そんなイメージを払拭しようと、中央図書館では平成十六年二月に児童書フロアの大改装を行いました。中でも大きな変更点は、物語を低・中・高学年以上に区分けし、一万冊の本の分類ラベルを全て張り替えたことです。

もちろん、図書館だけで全てできるわけはありませんので、多くのボランティアさんの助力をいただきつつ作業を進めました。併せて、フロアの本を二割程度減らし、ぎゅうぎゅう詰めめの書架に空きを作りました。



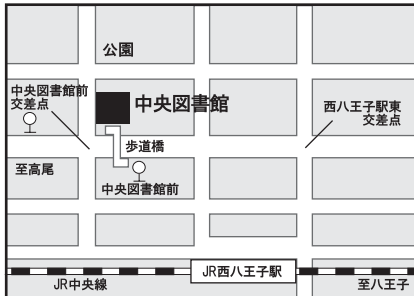
↑蔵書数を減らし、空間的なゆとりができました。



表紙を見せて、子供たちが→手に取りやすくなりました。

本の表紙を見せて並べる場所を多く設け、本が子どもたちに語りかけるようにしてみました。また、他にも、本の紹介カードを並べたり、季節や時事にあわせたテーマコーナーを設けたり、なかなか手に取られにくい「科学の本」を展示したりするなど、細かい工夫を重ねています。

八王子中央図書館
八王子市千人町3-6 TEL 042-664-4321



『コンビニ弁当 16万キロの旅』
千葉保 監修 コンビニ弁当探偵団 文
太郎次郎 エディタス 2005年

◆中央図書館お薦めの一冊

活字離れが叫ばれて久しいですが、こうした小さな工夫の積み重ねが功を奏したのか、改装前と比較して、毎年の貸出冊数が一・六倍になりました。子どもたちに本を手渡していくためにどう環境を整えていくのか、その大切さを実感する毎日です。

【内容】

身近なコンビニのお弁当に使われている食材の産地を一つ一つ調べ、国内・外国からの輸送距離を足していくと、なんと地球？周分にも…。

中央図書館 北野分室

※改修工事のため、来年の一月四日まで休館しています。



中央図書館北野分室は、京王線北野駅北口から徒歩一分のきたのタウンビル七階にあります。下層階にはスーパがあるので、買い物ついでに、立ち寄りやすい場所です。蔵書のうち約四割程度が児童向けで、子供たちが本を探しやすいよう分類、整理がされています。子供たちにとくさん足を運んで、たくさん本に接してもらいたいと思います。

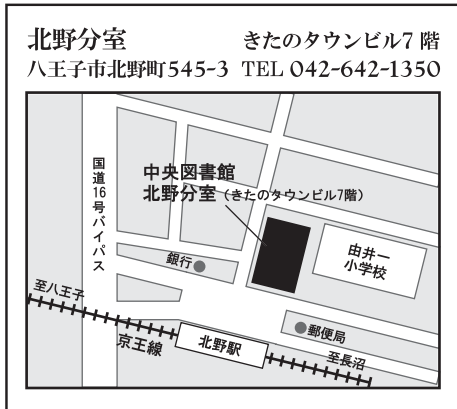
◆北野分室お薦めの一冊①



『りんごのおじさん』
竹下文子 文 鈴木まもる 絵
ハッピーオウル社 2008年

【内容】

誰にもできないと言われた、農薬を使わないりんご作り。何度も失敗しながらも、あきらめずに挑戦しつづけたあるおじさんの物語です。



【内容】
人里離れた高い山の頂に住むカル少年の一家。学校も遠く、家の仕事に追われるカルには、本を読むゆとりも関心もありません。ある日、女の人が馬に荷物を積んでやってきて、本を置いていきました。それは雨の日も、こごえそうに寒い日も、そして吹雪の舞う日にも…。本を手渡ししていくことの大切さを、そっと語りかけてくれる絵本です。



『ぼくのブックウーマン』
ヘザー・ヘンソン 文
デイビット・スモール 絵
さ・え・ら書房 2010年

◆北野分室お薦めの一冊②

川口図書館の特徴は、屋外の読書スペース、「図書館」があることです。ゆったりと流れる時を感じながら本が読める「図書館」。春先や初秋などの陽気の良い時期は、利用される方が数多くいらっしゃいます。他にも、より多くの方に利用していただくため、月ごとに季節や地域のニーズに合わせたテーマコーナーを設置したり、書架上に手作りサインを下げたりして、いろいろと工夫しています。

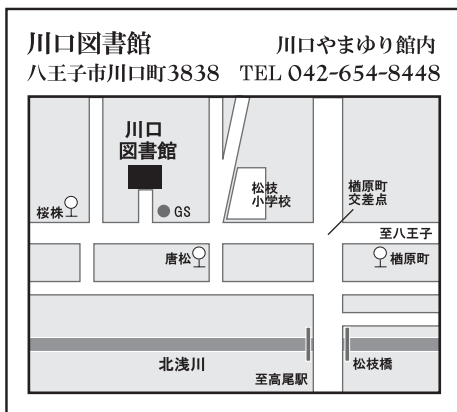


木漏れ日降り注ぐ図書館

図書館で季節を感じながら読書を

川口図書館

司書
伊藤 綾子さん



【内容】
仲よしのがまくんとかえるくんを主人公にしたユーモラスな友情物語を五編収録。読みきかせにもふさわしい全米図書賞児童文学部門で最終候補に残ったローベルの傑作。小学校の教科書にもたびたび採用されています。



『ふたりはともだち』
アーノルド・ローベル 著
三木 卓 訳
文化出版局 1972年

◆川口図書館お薦めの一冊
お薦め本はアーノルド・ローベル『ふたりはともだち』です。ユーモラスで温かく、大人になって読んで友情の大切さが心にしみますよ。

当館の特色として、YA（ヤングアダルト）コーナーの充実が挙げられます。これは、中学生・高校生向けのお薦め図書を集め、「児童コーナー」ではちよつと物足りないけど、一般書では何を読んだらいいか迷うなあ」という方に向けたものです。そこには、読書のきっかけのひとつになればと「読んでみませんか」と題した本のリストも置いてあります。また、職業関連本のコーナーも充実し、様々な職業について体系的に学べるようになっていきます。

YAコーナーを充実

南大沢図書館主査
新井 利明さん



フレスコ南大沢B1F

南大沢図書館

南大沢図書館は、京王相模原線・南大沢駅から徒歩五分のフレスコ南大沢地下一階にあります。場所柄かニュータウンの子どものたちの利用が多いので、児童向けの本やおはなしの本、調べもの本などを多く集めています。

職業関連本コーナーの分類

- ①総記(パソコン関係) ②哲学/宗教/心理学
- ③歴史/伝記/地理 ④社会科学/政治/福祉
- ⑤自然科学/数学/天文/生物
- ⑥技術/建築/インターネット/機械
- ⑦産業/農業/林業/水産
- ⑧芸術/彫刻/絵画/スポーツ/写真
- ⑨言語/語学/スピーチ
- ⑩文学/小説/日記

◆南大沢図書館お薦めの一冊①



『クローディアの秘密』 E.L.カニグズバーグ 著 松永 ふみ子 訳 岩波書店

【内容】

クローディアは退屈だった。何か変わったことがしてみたい。でもグサイのはいや。家出することにした。クローディアは計画を立てる。それは快適で、今までと全く違って、家のように気楽でいられるところへ行くこと。クローディアは弟のジェイミーと行き先を選んだ。でも、冒険に不測の事態はつきもの。すぐに二人は、専門家でも解けないような美術品にまつわるミステリーに巻きこまれることに。この謎を解くことができれば、クローディアが求める答えが見つかるかもしれない。

◆南大沢図書館お薦めの一冊②

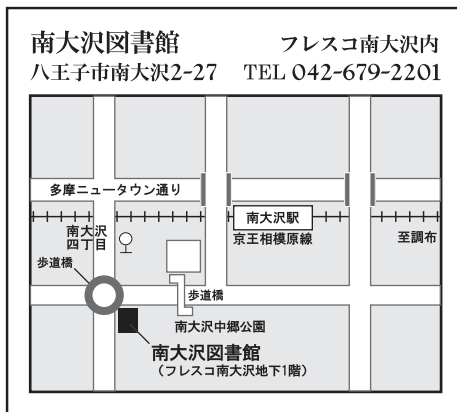


『ふしぎをのせたアリエル号』

リチャード・ケネディ 著 中川千尋 訳 徳間書店 2001年

【内容】

孤独な少女エイミーに本を読んでもらったおかげで、命を吹き込まれた船長人形キャプテン。一方、つらい出来事が重なって、人形になってしまったエイミー。二人は遂に帆船アリエル号に乗って冒険の旅へと船出します。多くの書評で絶賛され、読者に感動を与え続ける物語。世代を超えて愛されるファンタジーの宝石箱です。魅力的な挿絵と共に。



生涯学習センター図書館



生涯学習センター図書館

館長 中村照雄さん

当館は、クリエイトホールの二階と三階にあります。ホール内に八王子市役所の駅前事務所があるので、各種手続きに訪れた方や、お勤めの方や学校帰りの学生さんなど、様々な方々にご利用いただいています。当館の特色は、お子さん向けの読み聞かせのコーナーや、幼児向けのスペースが充実していることです。他にも、お勤めの方や学生向けのビジネス支援コーナーを設け、起業を目指す人が様々なデータベースにアクセスできるように環境を整えたり、外国人向けに外国語の蔵書を増やしたりしています。とはいえ、図書館だけでできることには限りもございません。今後とも、周囲との連携を図りつつ、少しでも良い方向へ改善していければ良いと考えています。

お勧めの本は、本を大切に思う心を大事にして欲しいと言うことで、いせひでこ作「ルリユールおじさん」(理論社)という絵本です。大人が読んでも納得ものの絵本です。

◆生涯学習センター図書館お薦めの一冊

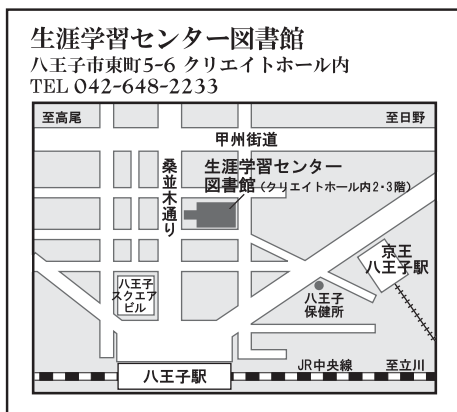


『ルリユールおじさん』

いせひでこ 著 理論社 2006年

【内容】

ソフィアの大事な植物図鑑が壊れてしまった。町の人からルリユールのところに持っていきと聞いて聞いたソフィアは、ある路地裏の工房を訪ねる。そこで、本造り職人のおじさんに図鑑を直してもらおう。





八王子市教育委員会
教育長 石川 和昭

本市教育の向上を目指して

今、社会は大きな変革期を迎えています。先の見えにくい社会は、子どもたちに夢や生きる希望を抱かせにくくし、教育環境の低下と相俟って、子どもたちの育成に大きな課題を投げかけています。

こうした中、本市教育委員会では、改正教育基本法の理念を踏まえ、八王子の教育をより質の高いものへと向上させるための教育振興基本計画『ゆめおり教育プラン』を本年二月に策定しました。このプランに基づき、子どもたちの生きる力の育成など、今後十年間を通じてめざす教育の姿の実現に向け、各施策に鋭意取り組んでおります。今年度は本市で二校目の小中一貫校「加住小中学校」を開校すると共に、地域運営学校として八校を新たに指定し、合計二十校で学校の活性化に努めています。今後この動きは全市に拡げて参ります。そしてこれらの施策をより実効あるものとするためには、学校、家

庭、地域の連携・協働が何より大切です。引き続き皆様方のご理解ご協力をお願い申し上げます。

小学校PTA連合会には、日頃より「ピーポくんの家」の活動をはじめ、諸課題の解決に向けた貴重な提言を頂くなど、本市教育行政に多大なるご協力を賜っており、誠に有難く感謝申し上げます。今後も貴連合会との更なるご活躍を期待しています。



八王子市立小学校
PTA連合会
会長 伊藤 邦雄

「青だけど、車はわたしを見てるかな？」という標語をご存知ですか？九月二十一日～三十日までの十日間実施された、秋の全国交通安全運動における八王子市の子供向けのサブスローガンです。

学校・PTA・地域の方々など、日頃より様々な方々に児童を見守っていただいておりますが、ご家庭におかれましても、改めて交通事故や不審者対策などについて、ことあるごとに話し合っていたいただき、子どもたちにとって、安全で安心な環境を整えていくためにご協力いただきましたと存じます。



八王子市
公立小学校長会
会長 野田不二夫

小P連との連携

日頃より、伊藤会長をはじめ小P連会員の皆様には、大変お世話になっております。私は、川口小学校長在任中の平成十六年・十七年と、小P連の副会長を勤めさせていただきました。今現在は未加盟校の校長です。この度「小P連だより」に寄稿する機会をいただきましたこと、とても嬉しく思います。また、その頃よりも貴会の活動内容が益々充実されていますこと、校長会としましても篤くお礼申し上げます。

八王子の教育をより良いものにするためには、小P連と校長会の連携は欠かせません。今年度も「五者協議会」を中心に、「小中」あるいは「教育委員会」との連携深めていくのが、私の仕事だと考えております。

今年度も、小P連活動の目的である「各単位PTAの健全な発展を図り、相互の協力により八王子市の教育の振興に寄与すること」を目指し、校長会と連携して参りましょう。

編集後記

八王子市内の五つの図書館について担当校が分担で取材してまとめるなんて、なんだか夏休みの自由研究のようで少しワクワクしてしまいました。

以前、中央図書館で行われた図書ボランティアの研修で、図書館の様々な工夫や取り組みを知り、改めて図書館の面白さを感じていたので、今回は、より興味を持って活動できました。各図書館関係者および各校の皆様、ご協力、誠にありがとうございました。

ある中国の女性作家が「読書は人を大切にするのを教えると共に、自分を大切にするのも教えてくれる。」とおっしゃいました。どうかこの秋、よりたくさん子どもたちが、いろんな感動の本に出会ってくれますように。

小P連だより第44号担当

第二ブロック

第九小学校・中野北小学校
清水小学校・川口小学校
陶踏小学校・上川口小学校
美山小学校・榎原小学校
松枝小学校・加住小学校